

提言第8号 救急医療における画像診断に係る死亡事例の分析

事例3

< 事例概要 >

- ・ 70 歳代の患者。腹部大動脈瘤の手術予定であったが、腹痛、嘔吐で夜間に救急受診。
- ・ 担当医師の診察時、歩行可能、腹部所見は軽度。腹痛の精査目的で腹部X 線撮影、腹部単純CT 依頼。
- ・ 画像上で胸水、腹水の貯留あり。腹部大動脈瘤は以前と比較して変化がないと判断。腹痛は消失し、血圧、脈拍は安定していることから帰宅を指示。画像検査から約 12 時間後死亡した状態で発見。
- ・ 死因は腹部大動脈瘤破裂。死亡時画像診断（Ai） 無、解剖 有。
- ・ 画像診断報告書 無。
- ・ 腹部単純CT で腹部大動脈瘤の周囲に後腹膜血腫を認めた。